

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		コンビニ（経営者）	・新しいスーパーが増えるため、酒類の卸売が増える。
		コンビニ（店員）	・観光客の動きは安定しているほか、最近では電子マネーで決済をする外国人客もかなり増えてきている。少額の買物でも、コンビニは24時間いつでも利用できるため、買物するには便利はなはずである。
		家電量販店（人事担当）	・春になれば、今年は花粉の飛散量も増えることから、空気清浄機やエアコンなどの販売量の増加が期待される。
		旅行代理店（役員）	・やはり、ゴールデンウィークの10連休を自宅で過ごすには長過ぎることから、旅行需要が増えているほか、新元号に絡んだ旅行需要も増えてきている。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・気候が良くなり、人の動きも活発になる。卒園式や入学式などの行事があるので、3～4月は販売量、売上共に上向くことを期待している。
		百貨店（売場主任）	・新しい元号となるが、堅調な株価に支えられて景況感が活発化し、売上は伸びると予想している。10月の消費税増税を見据えて、9月までは好調を維持できる。
		百貨店（営業担当）	・ごく一部の富裕層の優良客は、株価や近隣国の政情といった不安材料の影響も受けず、今まで以上に高額なブランド品を購入している。
		百貨店（営業担当）	・富裕層とインバウンド関連の市場が堅調に推移すると予想され、5月の改元に伴う祝賀ムードから、消費が刺激される。また、10月に控えた消費税の引上げ前の駆け込み需要が徐々に顕在化してくる。
		百貨店（営業担当）	・インバウンド客による買物は続くが、国内客は米国を中心とした不安定な国際情勢の報道により、派手な高額品の消費は抑えている。ただし、日常的な商材に関しては前年比で堅調な動きが続いており、消費税増税に向けて高額品の動きも出てくること期待される。
		百貨店（マネージャー）	・暖冬で気温が高く、春物の動きは早くなるため、ファッションの需要はやや高まる。また、株価がこのまま安定すれば、高額品の売上が増えていく。
		百貨店（販促担当）	・ゴールデンウィークの大型連休もあり、消費の増加が期待できる。連休前は準備関連、連休後は価格訴求型の提案により、平均すると伸びていないという状況を回避する。社会情勢が不安定にならなければ、ラグビーワールドカップや東京オリンピックの1年前という材料を含め、消費意欲にプラスになる要素もあるため、今後期待できる。
		百貨店（外商担当）	・5月の大型連休や改元などにより、消費者の購買意欲が増す。高額品については、消費税増税を意識した購買が始まると考えている。
		コンビニ（経営者）	・近隣に建設中であったタワーマンションが完成し、来月から入居が始まるため、来客数が安定的に増えそうである。生活必需品の売上増も見込め、客単価の上昇が期待できる。
		コンビニ（店員）	・前年からポイントカードの取扱いを始めている。その効果が出てきたのか、売上が伸びてきたため、今後期待している。
		コンビニ（店員）	・これから暑くなり、冷たい飲料やアイスが売れる。
		コンビニ（店員）	・寒さの峠を越え、徐々に来客数が増えている。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・早い時期から、春夏物スーツのオーダーが入っている。
	家電量販店（経営者）	・消費税増税の前に、家電を買換える客が増える傾向となる。	
	家電量販店（店員）	・決算月やキャッシュレス決済での特典による効果のほか、そろそろ消費税増税の駆け込み需要も出てくる。また、シングル需要や引っ越しなどに伴う複数の購入も増え、景気は上向きとなる。	
	乗用車販売店（経営者）	・消費税増税前の駆け込み需要に期待したい。	

乗用車販売店（販売担当）	・5月1日に向けて祝賀ムードも高まり、景気は活気付く。
その他専門店〔食品〕（経営者）	・ゴールデンウィークに向けて、消費が伸びると期待している。
その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・季節の変わり目で外出しやすいので、来客数が増えることを期待している。今年は花粉の飛散量が多いため、花粉関連商品の販売が増えそうである。
高級レストラン（スタッフ）	・例年、春は歓送迎会や個人客によるお別れ会が多い。
一般レストラン（経営者）	・歓送迎会の需要が見込まれる。歓迎会はごく身内だけの少人数化が進んでいるが、送別会では大口の客が来店する。
一般レストラン（店員）	・割引券やチラシなどへの反応は、今のところかなり薄い。今後は入学式やゴールデンウィークで外食に出る機会が増えるため、期待している。
その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・今年はゴールデンウィークが長いため、その影響で来客数は増加する。
観光型旅館（団体役員）	・暖かくなるにつれて、時期的にも卒業旅行などの動きが出てくる。
都市型ホテル（スタッフ）	・新年度から値上げを行うが、時代の流れから、客にも受け入れられている。また、G20サミット中の宿泊の動向は読めないが、高単価での販売が期待できる。
都市型ホテル（客室担当）	・世界情勢は不安定なままであるが、今年のゴールデンウィークは10連休であり、期待している。
タクシー運転手	・これから年度末に向けて人の動きが良くなる。平成の終わりでもあり、様々な変化に対応して企業も動かざる得ないため、景気も上向く。
タクシー運転手	・大阪万博関連の企業、特にゼネコン各社の営業部門によるハイヤー予約が増加傾向にある。
通信会社（社員）	・今後は東京オリンピックなどに向けて、高画質テレビの需要が高まると予想している。テレビの需要に連動して、当社サービスへの加入も増えてくる。
通信会社（企画担当）	・ゴールデンウィークは来客数が増加する。
競艇場（職員）	・G1競走、女子レースだけではなく、一般競走でも売上が順調に推移している。特に、電話投票の伸びが顕著であり、全体の60%程度を占めている。
その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・今後の施設の申込状況も順調である。
その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・アロマオイルのマッサージのため服を脱ぐので、寒い時期になると来客数が減少し、暖かい時期になると増加する。
住宅販売会社（総務担当）	・消費税増税の影響で受注が伸びる。ただし、政府の補助金などの影響もあり、大きくは伸びない。
一般小売店〔時計〕（経営者）	・先行きには安心感がほとんどない。お金の使いどころは、ゴールデンウィークを含め、時計とは違うところにある。全体に生活レベルが上がっているとも感じられないため、生活の余裕とともに、心の余裕にも格差がかなりあると感じる。先行きはかなり厳しい。
一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・新規取引先は1件増えるが、受注予約もなく、期待していない。
一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・全体的な景気の状態は悪くないが、消費という点からすると、好不調の変化が激しくなっている。消費の山が従来よりも高くなる一方、お金を使わない谷の期間が長くなっていると感じる。
一般小売店〔衣服〕（経営者）	・消費者の口から、今後行われる選挙の結果と、その後の大阪の景気を気にする声を聞くようになった。数か月後の大阪の景気は、選挙の結果による影響を受けることが予想される。
一般小売店〔野菜〕（店長）	・変わる様子が全くみられない。大型店舗では安売りが続き、個人店舗の商売は難しくなっている。
一般小売店〔花〕（店員）	・先行予約の数も例年と余り変わらないため、売上が大幅に増えることはない。

百貨店（売場主任）	・世界的な政情不安と、国内の将来不安により、無駄な出費を抑えようとする心理が働いている。かつては、仮想通貨の値上がりなどを専業主婦でも話題にしていたが、最近は景気の良い話を聞かない。東京オリンピックについてもまだまだ話題に上がらず、消費にプラスに作用するまでには至っていない。
百貨店（企画担当）	・外国人売上の増加傾向はやや鈍化していくが、国内客の減少傾向はこれから回復に転じることが予想されるため、今月並みの動きがしばらく続く。
百貨店（売場マネージャー）	・今年度の前半は国内行事も多く、消費全体は良くなると予想され、特にサービス消費は更に上向き可能性が高い。一方、後半は消費税増税の影響で、下向きとなる可能性が非常に高い。
百貨店（サービス担当）	・インバウンド効果が頼りとなっている。今月は春節などで空港料金が高くなり、来客数もレジ客数も前年割れとなっていたが、重要なのはインバウンドの買上げである。その傾向が変わらなければ、現状は維持できる。
百貨店（服飾品担当）	・客の店内の動きはややゆったりとしており、先行販売や限定販売だけでは活発にならず、もっとストーリーのある仕掛けが望まれる傾向にある。同じ物が売れにくくなる傾向は変わらないため、各百貨店には、様々な仕掛けにコストを掛ける売場作りが求められる。また、今後はモノづくりだけではなく、空間作りや誘導のためのアクションに力点が置かれていく。この取組から次の売場が生まれるため、どうしても時間が掛かる。
百貨店（販売推進担当）	・米中関係や北朝鮮問題など、国内景気やインバウンド売上に大きく影響を及ぼす不確定要素が多く、予断を許さぬ状況が続く。ただし、消費税増税が近づいてくることもあり、大きく下振れすることはない。
百貨店（商品担当）	・米中貿易摩擦や米朝首脳会談と、外部要因の先行きは予断を許さない。また、目前の消費税増税に向けた対応でもやや混乱している。駆け込み需要のほか、東京オリンピック特需などの押し上げ効果も含めて、非常に読みづらい状況である。
百貨店（営業企画）	・消費に力強さは感じられない。米中貿易摩擦や、それに伴う企業業績への影響、株価の低迷といった不安要素が多い。
スーパー（経営者）	・地方の人口減少や競合する大手の出店、人手不足など、中小企業には厳しい状況が続く。
スーパー（店長）	・4月には店の真横に食品スーパーが出店するため、引き続き苦戦が予想される。
スーパー（店員）	・天候が良ければ、野菜の価格も安い状態が続くため、余り変わらない。
スーパー（企画担当）	・来客数の推移には変化がないと予想される。
スーパー（経理担当）	・消費税増税が近づくとつれて、節約意識が高まる。増税対策の乱発もあり、消費者の混乱が懸念される。
スーパー（開発担当）	・生活必需品の値上げが止まらない。収入は増えないのに、物価だけが上がっていく。
コンビニ（経営者）	・前年に比べてインバウンド客が減少しているが、コーヒーの味の濃淡を作り出せる新たな設備を導入してからは10%増えているため、減少に歯止めが掛かることを期待している。
コンビニ（店長）	・今のところ、短期的に景気の変化はないものの、働き方改革などによる経営への影響で、4月以降はマイナスとなる大きな変化が予想される。
コンビニ（店員）	・特に景気が上向き材料もないため、大きな変動はなさそうである。
衣料品専門店（店長）	・今後は消費税増税前の駆け込み需要や、平成最後というキーワードが並んでいるが、今月の売上をみる限り、それほど期待はできない。
家電量販店（店員）	・例年、決算が終わると販売量は落ち込むが、今年は消費税増税の影響もあり、落ち込みは緩やかなものとなる。
家電量販店（営業担当）	・大阪万博の効果に少しでも期待したい。

乗用車販売店（経営者）	・この1週間は米中貿易摩擦の交渉に進展があり、制裁延期が示唆されるなど、株価も落ち着いてきた。ただし、今後の行方次第では交渉決裂も考えられ、その場合は株価が下がり、景気は更に落ち込む。また、米朝間の交渉も始まり、先行きは不透明であるため、まだ景気が良くなる材料には乏しい。
住関連専門店（店員）	・特に良くなる理由がない。10連休があるため、物に使うお金は減る。
その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・消費者の可処分所得は、大きく変化していないように感じる。
その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・高齢者の多い商圏のため、4月は納税への心配から、買物を控える人が多くなる。
高級レストラン（企画）	・宿泊の先行予約は好調であるが、企業宴会や婚礼宴会の予約は、前年に比べて低迷している。
一般レストラン（経理担当）	・消費税増税を控え、心理的に冷え込むことが予想される。標準税率が軽減税率かを考えながら買物しなければならない。また、現状の増税対策は、現場の頭を悩ませる内容が多いため、同一税率などのシンプルな方針を打ち出すべきとの意見が多い。
一般レストラン（企画）	・業態によっては、まだ来客数にばらつきがあるため、先行きはまだまだ不透明である。
観光型ホテル（経営者）	・個人客の予約申込みが間際化しているため、終わって見なければ分からない部分もあるが、3月も2月に続き、間際での申込みが増えたと予想している。
都市型ホテル（総務担当）	・2～3か月後の宿泊予約の状況は、客室単価の下落によって売上が前年を下回っている。宴会の予約も、前年を大きく下回っている。
都市型ホテル（管理担当）	・アジアのインバウンドの受注状況は若干回復しているものの、前年の台風による関西国際空港の閉鎖前のような強さは、まだみられない。
旅行代理店（支店長）	・ゴールデンウィークで旅行マインドが上がる。そのまま夏休みの需要につなげたいところであるが、一過性の需要となる可能性もあり、現状と変わらないと予想される。
タクシー運転手	・新年度になるほか、梅や桜も咲くため、多少は良くなる気配がある。
観光名所（企画担当）	・韓国からの客は減少しているが、中国や台湾など、全体的なインバウンド客数には余り変化がない。今後もこのままの状況が続くと予想している。
遊園地（経営者）	・天候は比較的安定し、来客数は堅調に推移している。屋外の施設であり、気温の上昇とともに客足は良くなる見込みであるが、その一方で、人手不足と人件費の高騰が深刻化している。収支両面で見通せば、先行きは不透明である。
その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・プロ野球が開幕し、公式戦や強化試合が予定されているほか、多くのコンサートも開催されるため、多数の来場者を予想している。
美容室（店員）	・ヘアデザインを変える時期に入るため、このまま良い状態が続く。
住宅販売会社（経営者）	・次の住宅需要の波は夏休みに訪れるが、余り大きな変化はなさそうである。
その他住宅〔展示場〕（従業員）	・新築注文住宅は、消費税増税に伴う経過措置が3月末まで受けられるため、3月は注文が増える一方、4月以降は政府の消費税引上げ後の住宅取得支援策もあるため、横ばいとなる。
商店街（代表者）	・客単価の下落が止まらない。今後もこの傾向は長く続きそうである。
一般小売店〔花〕（経営者）	・大型連休の影響で、得意先の会社や店舗からの発注が止まるため、売上が減少する。
一般小売店〔衣服〕（経営者）	・暖冬の割に、春物衣料の動きが悪い。特に、スプリングコートなどの次の展開が読めない状態が続いている。今年度も、春物商材の販売は微減の状態が続くそうである。

一般小売店〔呉服〕（店員）	・目的買いの客が増えており、それ以外はしゃれ物という、ふだん着の着物を着る人に頼るしかないため、今よりも悪くなる。
百貨店（売場主任）	・従来はインバウンド需要に支えられてきたものの、中国の電子商取引法の施行により、今後は不透明感があり、大きな伸びは期待できない。大型連休や改元による商売のチャンスもあるが、期待できる商品は限定的である。好調な要因の大部分をインバウンド需要が占めていたため、今後は苦戦が予想される。
百貨店（売場主任）	・基幹店のインバウンド売上が一服してきた状況を勘案すると、トレンドが大きく改善することはない。
百貨店（企画担当）	・株価や国際情勢の不安定さから、消費の減退が進んでいるように感じる。
百貨店（宣伝担当）	・インバウンド売上頼みの状況で、中国経済の減速による影響が出ないか、懸念している。
百貨店（マネージャー）	・米朝関係や改元、消費税増税などで先行きが不透明ななか、コストと価値への意識が更になり、選択消費の傾向はより一層厳しくなる。
スーパー（店長）	・米国の中国への制裁は延期されたが、英国のEU離脱問題や消費税増税への備えが大きな不安材料である。一方、早めの春の訪れによる季節商材の動きや、皇太子殿下の御即位による祝賀ムードが期待材料である。
スーパー（店長）	・今月に近隣の地区にドラッグストアが出店したため、影響が出る。
スーパー（店長）	・米中貿易摩擦などの世界情勢の不安や、先行き不透明感により、心理的には景気後退が始まっている。
スーパー（店員）	・大型連休に入ることで、遠出をしたり、ショッピングモールへ買物に行く機会が増えるため、小さなスーパーにとっては客足が悪くなる。
スーパー（管理担当）	・経済の先行きが不透明なほか、国際情勢も不安定な状況が続く。思い切った対策もないため、緩やかに下降していく。
スーパー（社員）	・なかなか客の購買意欲が高まらないまま、春と夏を迎えることになりそうである。例年よりも早めに春物商材の展開を進めているが、今のところ大きな反応はない。前年の実績の確保すら難しい時期が続くそうである。
家電量販店（企画担当）	・QRコード決済やWi-Fi環境の整備、販売員の外国語対応といったインフラ整備を、2020年の東京オリンピックまでに整えないと、インバウンド消費による経済効果が発揮されない。
乗用車販売店（経営者）	・修理整備は順調なもの、新車販売の予約などは余り良くない。
その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・特に、2月中旬頃から家庭関連商品の購入が減っている。また、来客数、買上点数共に、通常よりも落ち込んでいる。
その他専門店〔宝石〕（経営者）	・米国と中国との貿易摩擦にめどがたてば若干変わる。一方、日本の状況は、米国と北朝鮮の会談の行方によっても少し影響を受ける。
その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・人件費や物流費の上昇を価格に転嫁する傾向が続いている。消費税増税も次第に近づいてくるなか、消費者の生活防衛意識もより顕著になることが予想される。
一般レストラン（経営者）	・当店は住宅街にあるので、10連休の影響については何ともいえない。
その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・食品の値上げによる影響が、徐々に出そうである。
都市型ホテル（管理担当）	・ホテルが供給過多であるほか、世界情勢に対する不安、消費税増税といった不安要素が多いため、良くなっていくとは考えにくい。
タクシー運転手	・期待先行の面もあるが、暖かくなれば外出や旅行も増えるため、客足は伸びる。

	テーマパーク（職員）	・やはり今後の景気は消費税増税に左右されそうである。そもそも必要とは感じられず、社会保障の財源が必要ならば、所得税や法人税を上げるべきである。企業業績が上がっても従業員に還元されないならば、法人税を上げて社会保障に回した方が建設的である。
	競輪場（職員）	・天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴い、大型連休となるが、生活必需品などの値上げも予定されている。実質賃金が上昇すれば好転すると予想されるが、現実的には厳しい。
	その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・無料体験のキャンペーンを行ったが、入会者が少ない。
	住宅販売会社（経営者）	・市内中心部の地価を支えていた、ホテルや宿泊用地の需要が低下したため、土地の単価が下落し、取引件数も伸びていない。宿泊客数も上限に近いため、新たな需要をけん引する業種が出るまでは、地価の下落は避けられない。
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・金融機関の融資姿勢が厳しく、取引件数は減少している。
	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・春先をめぐり、当社担当エリアへの同業他社の参入が決まっている。物件を取られる形になるため、動向に注意が必要である。
×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・消費税増税が近づくことで悪影響が出る。
×	衣料品専門店（経営者）	・既に統一地方選挙の影響が出始めている。
×	衣料品専門店（経営者）	・新しい商品を仕入れることができず、販売面での悪循環が進み、今後は悪くなる。
×	住関連専門店（店長）	・大型連休の前後は業務が圧迫され、かえって営業や商談が停滞するため、連休や祝日の多さが経営にメリットをもたらさないのは例年のことである。今年は10連休であり、更にその傾向が顕著になる。
企業動向関連 (近畿)	-	-
	食料品製造業（経理担当）	・改元を含む、4月末～5月の10連休のイベントが増える予想される。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・少品種大ロットの受注から、多品種小ロットに軸を変えたことで、問合せ数、売上共に増えている。納期が短く、対応に追われるが、需要は確実にある。品質面でのクレームはないため、しばらくは今のペースで推移しそうである。
	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・5月に改元するため、これに伴う各種のキャンペーンが予想される。
	輸送業（商品管理担当）	・3～4月は引っ越しシーズンであり、家具の売上は例年並みに良くなる。
	輸送業（営業担当）	・引っ越しが遅れているため、春の繁忙のピークがしばらく続く。
	通信業（管理担当）	・春休みに向かい、景気が好転すると予想される。
	金融業（営業担当）	・台風関連の仕事が依然として多い。
	広告代理店（企画担当）	・改元や長期のゴールデンウィークに向けて、イベントを仕掛ける商業施設が多く、例年になく盛り上がりが見られる。
	食料品製造業（営業担当）	・春先に向けて気温が上昇してくるが、食品全般で値上げの動きが出てくるため、購買数は余り変わらない。
	繊維工業（総務担当）	・催事での集客が少なくなっている。
	家具及び木材木製品製造業（営業担当）	・大きな変化はない。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・取引先からは、増産や減産の情報がない。
	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・消費税増税の影響で、今年の夏頃までは低調な受注が続くと予想している。
	化学工業（経営者）	・新規事業や新規案件が軒並み遅れており、良くなる要素が見当たらない。ただし、悪くなるほどの不安要素や、得意先からの情報もないため、しばらくは現状維持が予想される。
	化学工業（企画担当）	・食品への需要の低下が慢性化しており、状況の改善が見込めない。

化学工業（管理担当）	・中国経済の先行き不透明感が強まっており、客からは、発注見込みについて明るい情報が入ってこない。
金属製品製造業（経営者）	・米中間の関税問題の結果が出るまでは、変化はないと予想される。
一般機械器具製造業（経営者）	・納期の長い受注案件が中心であるため、今後数か月の景況は、上向きでも下向きでもない。
一般機械器具製造業（設計担当）	・受注量の増加が見込めない。
電気機械器具製造業（営業担当）	・大型案件もなく、今の状況のまま推移しそうである。
輸送用機械器具製造業（経理担当）	・引き合いの減少がややみられるものの、ほとんど変化はない。
その他製造業〔履物〕（団体職員）	・大企業を中心に業績の改善が進み、景気の回復基調が続いているが、個人消費は依然として低迷が続いている。中小零細企業にとっては、景気の回復を実感するまでには至っていない。
その他製造業〔事務用品〕（営業担当）	・新商品の受注量もそれほど変わらないため、大きな変化はない。
建設業（経営者）	・太陽光発電については、現在の状況がしばらく続く。ただし、固定価格買取制度の買取価格が下がる4月以降は、やや減速する可能性がある。
建設業（経営者）	・公共工事が減り、人材の確保も難しい状況で、売上の維持は困難である。
建設業（経営者）	・現在は建設資材の不足や高騰のほか、監理技術者、技能労働者不足が続いている。今後は建設業界も様々な問題を抱えて、先が見通せない不透明な時代となる。
輸送業（営業担当）	・2月に運賃を値上げしたため、企業間の荷物量は減ったが、利益は変わらない。
金融業〔投資運用業〕（代表）	・今、日本人の間にはかなり閉塞感がある。ここを打破しなければ、一気に好景気とはならない。そのためには何よりも政治の主導が不可避で、やる気や自信をもたせてくれるような対応をお願いしたい。
金融業（副支店長）	・得意先との会話でも、景気が良いという話はほとんどない。
新聞販売店〔広告〕（店主）	・読者の減少傾向が止まらず、折込件数も低調なままで、上向く兆しが無い。
広告代理店（営業担当）	・新年度以降、得意先に余り好調な動きがみられない。
広告代理店（営業担当）	・紙媒体、Web媒体共に、売上は前年比100%前後での推移が続いている。
司法書士	・案件の少ない状態が変化する要素は見当たらないため、現状維持ができればよい。
その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・それほど大きな変化はなさそうである。
その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・韓国との関係悪化により、訪日観光客の数にも影響が出始めているようで、関西の景気にも多少なりとも影響が出てくる。
その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・余り変化は感じられない。
食料品製造業（従業員）	・景気の低迷で前年の実績を維持できない競合先が、安価な価格で販売増を図っている。大型連休もあり、今後に期待はしているが、当社の売上はしばらく低迷するかもしれない。小売店も販売増が見込めない中で、利幅の薄い製品の販売が増えれば、売上や利益が少なくなっていく。
繊維工業（団体職員）	・高付加価値品には一定の動きがあるものの、全体的な動きは良くない。
金属製品製造業（営業担当）	・しばらくは自動車関連の生産調整が続くそうである。
不動産業（営業担当）	・当市からの企業の撤退により、飲食店の売上が減り、客単価も下がっている。店舗関係の賃貸市場に影響が出ているほか、一部地区の空室率が上がり、賃料も下がってきている。
その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・省エネ関係の補助金次第となるが、現時点では新たな情報がない。

	x	繊維工業（総務担当）	・暖冬の影響で、冬物の靴下の販売が著しく悪い。そのために販売会社の引き取りが悪く、在庫の滞留が増加している。
	x	電気機械器具製造業（経営者）	・まれにみる国際的な不安要因のほか、国内にも政治問題が広がっているため、とても安心はできない。3か月先のことも見通せないのが、悪くなると予想しているが、分からないが本音である。
	x	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・今後の経済政策が見通せず、实体经济も良くない。
雇用 関連 (近畿)		-	-
		人材派遣会社（支店長）	・少し不透明感が出てきたため、来期の求人数の動きは微増にとどまる。
		人材派遣会社（営業担当）	・引き続き求人件数は多く、企業は人材の確保に積極的なため、今後もやや良くなる。
		人材派遣会社（経営者）	・求人倍率は高止まりしている感があるため、これ以上の拡大は見込めない。
		人材派遣会社（経営者）	・人手不足は全ての業種にいえることであり、関西の派遣業界ではIT関連やインフラ関連で右肩上がりの状態が続いている。今後懸念されるのは、人材不足によるミスマッチの発生である。
		人材派遣会社（役員）	・求人企業や求職者の動きを総合すると、当面は現在の状況が続くと考えられる。なお、4月からは残業規制の強化のほか、有給休暇の取得が義務化されるが、労働者にとって望ましい改革である一方、派遣労働者の中には、残業が重要な収入となっている人もいることから、マイナスの影響が出るケースもゼロではない。
		人材派遣会社（営業担当）	・団体傷害保険の募集といった期間限定案件や、ゴールデンウィーク期間中の繁忙対策としての臨時募集が予想される。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・最近募集のなかった企業の求人が増えているが、純粋な新規の求人は増えていない。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・新聞求人に関しては、大きな動きはなさそうである。ただし、米中間の貿易摩擦や米国と北朝鮮の核廃棄をめぐる協議、英国のEU離脱問題など、日本を取り巻く世界の動向は目まぐるしく変化しており、その結果次第で関西の求人動向も変化する可能性がある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・関西の地場産業には東京オリンピックなどの恩恵もなく、特に変わらない。ただし、5月のゴールデンウィークの10連休商戦には期待したい。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は減少傾向にあるものの、依然として求人倍率は高く、人手不足感は強い。特に、人手不足分野である建設や運輸、医療・福祉業では求人が多い一方、希望する求職者は依然として少ない。
		職業安定所（職員）	・事業所からは、入管法の改正による外国人の受入れに期待する声が多く聞かれる。今後、人手不足の緩和につながるのか、従来の労働条件の改善傾向に変化がないかどうか、注視している。
		職業安定所（職員）	・今後も求人数は多い状態が続くと予想される。
		民間職業紹介機関（マネージャー）	・しばらくは堅調に推移するが、大手や中堅企業を中心に採用ストップの話も出ているため、1年後は分からない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・春節が終わってからの大阪の街は、一気にインバウンド客が減ったようで、少し寂しく感じている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・ゴールデンウィークを挟んで派遣社員の出勤日数が減るのに加え、求職者が少ない状況である。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・人手不足が慢性化している流通、サービス系は、引き続き採用環境も良いが、メーカーや貿易関連などは、米中関係の悪化や英国のEU離脱問題による影響で、企業業績が悪化する可能性がある。その場合、採用の抑制につながると考えられるため、全体的にはやや悪くなる。
	学校〔大学〕（就職担当）	・大手企業の動きの変化によって、中小企業の受注残が少しずつ減ってきている。	
	x	-	-